

オプトアウト用公開文書

研究名称

子宮筋腫核出術術後における妊娠及び帝王切開に関する検討

1. 研究の対象

- ・1995年1月から2018年12月までの間に当院産婦人科で子宮筋腫核出術の手術を受けられ、その後妊娠し出産された128名
- ・2013年1月から2018年12月までの間に当院産婦人科で予定帝王切開で分娩された方のうち、反復帝王切開・骨盤位帝王切開いずれかを受けられた213名が対象です。

予定帝王切開…帝王切開の予定で入院し、帝王切開を施行

反復帝王切開…以前に何らかの理由で帝王切開で出産し、今回の分娩も帝王切開で出産

骨盤位帝王切開…逆子のために帝王切開で出産

2. 研究目的・方法

子宮筋腫の手術療法の中で、妊孕性を温存するためには子宮筋腫核出術が選択されます。以前は開腹手術で行われていましたが、近年は腹腔鏡下手術で行われることが多くなってきました。また、術後に妊娠し出産した人がどのような経過を辿るかという報告は、世界でも数少ないのが現状です。

そこで子宮筋腫核出術の術後の妊娠・周産期予後との関連を明らかにするため、当院で子宮筋腫核出術を施行し、術後に妊娠し出産された人の状態と、反復帝王切開・骨盤位帝王切開で出産された人の妊娠転帰や手術所見に関して検討を行います。

3. 研究実施期間

2020年4月13日から5年間

4. 研究に用いる情報の種類

カルテより下記情報を取得します。

出産週数、出産方法、分娩時間、出産時の出血量、新生児体重、Apgarスコア、帝王切開時の腹腔内所見

本研究は本学単独研究であり、他機関への情報提供は行いません。また、情報の二次利用は行いません。

5. 研究に管理について責任を有する者の氏名または名称

〈研究責任者〉近畿大学病院産婦人科 松村 謙臣

〈研究分担者〉近畿大学病院産婦人科 藤島 理沙

近畿大学病院産婦人科 小谷 泰史

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、患者様が特定できる情報（患者様氏名・カルテ番号）については削除され、匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合はお申し付け下されば情報利用する事を停止致します。情報利用を希望されなくても、あなたに不利益を被る事はありませんのでご安心下さい。

なお、本研究は近畿大学医学部倫理委員会の審査を受け、近畿大学医学部長の許可を受けて実施するものです。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：大阪府大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221 内線 3215

担当：近畿大学病院産婦人科 小谷泰史